

ぶらすとまいなす之論

工學士 佐藤四郎

天地萬物森羅萬象悉ク是レぶらすとまいなすナラサルナカラシヤ山岳ニ對スル河海孟夏ニ對スル嚴冬ノ如キ頗ル好箇ノ對照タラスンハアラス是ヲ人事社會ニ見ルモ人間萬事塞翁ノ馬タルト同時ニ總テ盡クぶらすとまいなすノ範疇ニ容ラサルナキニ似タリ

人ハ其面ノ異ナル如ク亦其性格ニ於テ異レリ此處ニ躍進主義ヲ取ルアレハ彼處ニ保守主義ヲ固持スルアリ悠長ニシテ執着ナル者アレハ霸氣滿々トシテ剛情ナルアリ圓轉ニシテ緩慢ナルモノアレハ剛直ニシテ性急ナルモノアリ恰モ電氣ノ積極ニ對シテ必スシモ隨處ニ消極ノ存在ヲ認ムル如ク苟モぶらすとまいなすタルモノナクンハアラサル也

然リト雖一人ニシテ能ク亦ぶらすとまいなすトヲ兼備セルモノアリ阪上田村磨ノ如キハ或ハ其人ナラン乎史ノ傳フル處ニ依レハ彼ハ怒レハ惡鬼羅刹モ恐怖シ笑メハ婦女童幼モ親懷セルト謂フニ非スヤ然リ彼ハ克ク剛毅ニ然モ克ク柔順ニ其中庸ヲ得タル處ノ人物タリシ也
織田信長ノ如キハ蓋シ剛峻度ヲ超エタル性急者ナラスンハアラス彼ハ餘リニ峻嚴ナリシ爲メ遂ニ光秀ノ弑スル所トナリシ也昔者支那趙ニ於テ趙衰趙盾ノ父子アリ父子ニシテ然モ其性質全然反對セルヲ以テ時人之ヲ呼ンテ曰ク趙衰ハ冬日ノ日也趙盾ハ夏日ノ日也ト蓋シ趙衰ハ天資濃厚

謙和人親愛シ易シ故ニ冬日ノ和煦愛スヘキニ喩ヘ之ニ反シテ趙盾ハ天資刻厲峻發人其ノ威嚴ヲ
 憚ル故ニ之ヲ夏日ノ炎熾最モ畏ルヘキニ喩ヘシ也
 斯ノ如ク個人ノ性格ニ於テ其ノぶらす性トまいなす性ト存在スル如ク吾人ハ處世法ニ於テモ斯
 二方面アルヲ信スルモノ也所謂躍進主義自力主義ノ如キハ前者ニ屬シ保守主義他力主義ノ如キ
 ハ後者ニ歸スルモノト謂フヘキ也
 更ニ是ヲ世界各國ノ人種ニ其差別ヲ究メン乎歐米人ハ進取活動性ニ富ミ事々物々ニ勇往邁進ス
 ルヲ以テぶらす的ト稱スヘク支那人ハ悠々退嬰ニシテ姑息因循ナルヲ以テまいなす的タルモノ
 ト謂フヘキ也而シテ吾日本人ハ恰モ歐米人ト支那人トノ中間ニ介在スルモノニシテ歐米人ニ比
 シテハ聊カ其活動性ニ劣ルモノアルモ支那人ニ比スレハ頗ル勇往邁進的ノ性質ニ富メルモノ也
 李白ノ詩ニ桃花流水杳然去別有天地非人間ト云フアリ安積良齋ノ詩ニ山河歷々雙鞋下但恐一呼
 驚八州ト云フアリ同シク山ヲ咏スルノ詩ニ於テ其思想感慨ノ相違夫レ幾許ソ彼ハ山水ノ幽邃ナ
 ルヲ見テ隱遁的ノまいなす感想ヲ吐露スルニ對シ此ハ全然反對ニシテ山河ノ形勢ヲ瞥見シ忽チ
 英雄四方攷畧ノ雄圖ヲ發揮スル如キ蓋シぶらす中ノ雄ナルモノナラズンハアラサル也
 えまゐるそんハ自己ヲ信賴セヨ汝ノ心胸ハ此ノ翠線ニ觸レテ鳴動セント云ヘリえっべり卿ハ又其
 名著人生ノ妙用ノ劈頭ニ於テ絶叫シテ曰ク吾人ノ幸福成功ハ單ニ吾人ノ位置境遇ニ依ルモノニ
 非スシテ必スヤ吾人ノ努力自力ニ俟タサル可カラズ世ニ他人ノ爲メニ亡ホサレタルモノヨリ却
 ツテ我自ラ自己ヲ滅亡セルモノ多ク暴風雨又ハ地震カ破壊セルヨリ人類ノ手ニ由ツテ滅亡サレ
 タル家屋都市ノ多キヲ見ルヘシト云ヘリ
 曩ニ踵ヲ接シテ來朝セル米人あゝとすみすト印度人たごゝるニ於テ吾人ハぶらすトまいなすノ
 二方面ノ好適例ヲ認識セサル能ハス恰モ歐米人ト東洋人トノ好適ノ對象タラスンハ非ス印度詩

聖たごゝるハ本邦各所ノ講演ニ於テ盛ニ歐米ノ物質的文明ヲ呪咀シ科學ハ人性ニ非ス唯智識ト
 訓練ニ過キサルノミ西洋ノ文明ハ唯外的ニシテ單ニ力ノ福音ヲ傳ヘテ雷ニ科學藝術ノ進歩ヲ見
 ルニ止ル耳然ルニ東洋ノ文明ハ之ニ反シテ內的心靈的ニシテ愛ノ福音ヲ奉ス日本ノ文明ハ素ヨ
 リ其固有ノ精神ニ依ツテ愛ノ精神ヲ保有セルモ近時西洋文明ノ暴威ノ下ニ蹂躪サレ漸ク其貴キ
 特色ヲ失ヒツ、アハ痛歎ノ至リ也所謂ヘリ然ルニ一方すみす氏ハ世界第一ノ曲乘飛行家ノ技
 能ヲ發揮シ本邦各地ニ其絶妙ナル手腕ヲ揮ヒ數千尺ノ天空ニ於テ飛行機ノ橫轉曲轉宙返リ逆降
 等奇絶怪絶ノ妙技ヲ行ヒ吾同胞ノ耳目ヲ聳動セシメタルモノハたごゝる氏ノまいなす説ニ對シ
 テ極端ニ科學ノ威力ヲ示セルぶらす底ノ技術ト稱スヘキ也
 斯ノ如ク概シテ歐米人ハぶらす性ノ積極的自力ニ富ミ東洋人ハまいなす性ノ消極的自力ニ傾ク
 ニ似タリ然ラハ吾人ハ處世ノ首途ニ當ツテ此二方面ヲ如何ニ取捨スヘキヤハ頗ル慎慮考索ヲ要
 スル問題タラスンハアラス抑々自力自恃ハ純然タルぶらす主義ニシテ義ヲ見テ勇往蕩進スルモ
 ノナルヲ以テ時ニ或ハ暴虎馮河ノ誹ヲ招クアリ或ハ驕慢輕舉ニ陥ルヨトアリ今川義元ノ一擧桶
 狭間ノ役ニ討死セル如キハ其驕氣惰氣ニ馴レタル所以ニアラスシテ何ソヤ
 他力他恃ノまいなす主義ニ至ツテハ餘リニ恭謙ニ過クル時ハ萬事他人ノ指導ニ依ツテ事ヲ爲ス
 ヲ以テ終ニ自己ノ人格ヲ消滅スルハ勿論終世他人ニ寄ツテ進退セサルヘカラス然リト雖ぶらす
 主義ノ如ク輕舉盲動ノ失策ニ陥ル事尠ナク敢テ格段異常ノ成功ヲ見スト雖亦衣食ノ途ヲ喪フカ
 如キノ憂勿カルヘシ
 吾人ハ此二方面ノ選擇ニ當ツテ自己ノ習性ト性格技能ト智識有ラユル自己ノ長短得失ヲ考量ス
 ヘシト雖吾人ノ最モ重要視スヘキ要點ハ他力ヲ利用シテ自力ヲ發揮セシムルニアリ即チ協同生
 活ヲ利用シテ獨立自尊ノ途ヲ講スヘキモノニシテ吾人ハ吾技術家處世ノ途ニ於テ特ニ其緊要ナ

ルヲ高唱セスンハアラス
吾人竊ニ吾技術家ノ行路ヲ遠觀セン歟彼等ハ概ネ他人ニ依ツテ事ヲ爲スモノ多ク熟達鍛鍊ノ自力手腕ヲ有シツ、而モ能ク他人ノ命令依囑ニアラサレハ動カス他ノ推舉招用無クシハ何時迄モ守株退嬰徒ラニ伯樂無キノ嘆ヲ放ツ耳此ノ如クシテ技術家ノ天分ヲ盡クスモノト謂フヘカラス袖手傍觀管唯他ノ推舉誘導ヲ俟ツニ非サレハ自力自働セサル如キハ極端ニ之ヲ批評セハ高等乞丐トモ云フヘキモノニシテ獨立自守ノ精神氣象ニ缺如セルモノ也
現今總テノ科學工藝ニ於テ社會ノ文明ヲ助長スヘキ事業ハ決シテ鮮少ナラス是等事業ノ取捨選舉提唱ハ技術家ノ専ラ其任ニ當ルヘキモノタルニ拘ハラヌ吾邦ニ於テハ是等工業ノ創意發起企畫ハ概ネ技術家ナラサル所謂事業家ト稱スル資本家ノ發企ニ關カリ技術家ハ其招聘ニ應シテ唯ニ其ノ命令ノ下ニ行動スルカ若シクハ必要ニ應シテ其參與員タルニ過キサルモノ多シ是レ豈物ノ本末ヲ轉倒スルモノニ非スシテ何ソヤ
今古無比ノ世界ノ大戰亂ニ遭遇セル吾日本ノ運命ハ奈何ニ成リ行クヘキ乎最近ノ日露協約ヲ締結セル日本ハ曩ニ締盟セル日英同盟下相呼應シテ將ニ日英露佛伊五國同盟ノ前提タランモ知ルヘカラス兎ニ角亞細亞洲中唯一ノ強國トシテ其位置ハ極メテ有望ナルモノナレハ技術家タルモノハ覺醒一番率先躍進邦家ノ利福發展ヲ努メサル可カラス爰ニ聊カぶらすまいなすノ論ヲ試ミ吾技術家ノ發奮ヲ促サントスルモノ也(完)